

科目名	病弱者教育【社福】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	大 隈 巖						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	今日までの病弱者教育の歴史を学習することにより、病弱者という健康上の問題を把握し、一人一人の実態に応じた支援・指導の在り方について概説する。病弱者教育では医療との連携を密にし、それぞれの病状に応じた教育課程の編成について説明する。						
授 業 の 到達目標	(1) 今日までの病弱者教育の流れを理解する。 (2) 特別支援学校・学級に就学している病弱者の実態がわかる。 (3) 病弱者の病状を理解し、特性について説明ができる。 (小児ぜんそく、腎炎、ネフローゼ、てんかん、心臓疾患、肥満、進行性筋ジストロフィー等) (4) 病弱者の学習空白（特に教科学習）への対応の方法がわかる。 (5) 病弱者の特性に応じた支援・指導の在り方がわかる。 (6) 病弱者教育と医療との連携の在り方について取り組むことができる。 (7) 病弱者教育と家庭（保護者）との連携の在り方について理解する。 (8) 病弱者教育の課題について指摘ができる。						
学習方法	講義、課題・事例について討論・発表会						
テキスト及び参考書等	肢体不自由・病弱者教育（猪岡武・高瀬俊康著）教育出版 KK						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	◎	◎					25
宿題・授業外レポート	○	○					25
授業態度			○				10
受講者の発表				◎			20
授業への参加度			○				20
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	病弱者教育の歴史について						
第 2 週	病弱者教育の現状について						
第 3 週	病気の理解（小児ぜんそく）						
第 4 週	病気の理解（腎炎・ネフローゼ）						
第 5 週	病気の理解（進行性筋ジストロフィー症、ウエルドニッヒ・ホフマン病）						
第 6 週	病気の理解（てんかん、心臓疾患、ファロー四徴症）						
第 7 週	病気の理解（虚弱・肥満）						
第 8 週	病気の理解（重症心身障害）…小テスト						
第 9 週	学習指導の実際（教科指導の基本的な考え方）						
第 10 週	学習指導の実際（教科指導について）						
第 11 週	学習指導の実際（特別活動について）						
第 12 週	自立活動の指導（特に重症心身障害児に対する支援・指導について）						
第 13 週	病弱者教育における教育課程の編成の手順と方法						
第 14 週	病弱者教育における家庭・学校・病院の連携について…小テスト						
第 15 週	病弱者教育の課題について						
第 16 週							
備 考							